

## < 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

サッカーアジアカップ日本代表や全豪オープンテニスの大坂なおみ選手の活躍のニュースが世界を駆け巡っています。今年の日丸はさい先良いスタートを切ったようです。-

さて、定期総会で承認され正式スタートを切った「福庭自治公民館新築計画」は先月の館長報告にある工程に基づいて作業が進んでいます。その内容をご説明します。

- ① 2019年1月2日(水) 定期総会・・・本計画の承認を得た。(過半数の議決として「法人化」と「規約改正」の承認も頂いた)

↓

- ② 2019年1月5日(土)・・・ (1) 役員選任委員会のメンバー6人で  
総務部長、会計担当、福祉部長、  
社会教養部長を選出決定した  
選出決定した。女性部長  
のみ互選により 1/14 に決定した。
- (2) 決定した専門家を中心に具体的  
図面を作成、即ち、間取りや部屋数  
その内容等を住民の皆様の要望を  
取り入れて進める。解体の見積もり。

公民館新役員と本計画推進  
委員3名の決定(行政、設計、  
その他、それぞれの専門家に  
依嘱する。

↓

<決定した新部長>

総務部長	伊藤 文男 (14 班)
会計担当	井手添 吉尾子 (きおこ・18 班)
社会教養部長	福田 稔 (6 班)
女性部長	丸山 孝枝 (7 班)
福祉部長	河上 基 (もとい・1 班)

<建設推進委員>徳丸 宏則 (3 班・行政経験者)、井手添 誠 (15 班・建築関係者)  
館長、副館長、総務部長の合計 5 名

～この建設推進委員 5 名が 1 月 20 日に集合して第 1 回の新築推進委員会を開催した。  
その委員会の概要を土井博文 副館長が纏めましたのでその文章を下に掲載します。

## ＜第 1 回福庭公民館新築に係る推進委員会の概要＞

平成31年1月20日

記録者 副館長 土井

- 1 開催日時 平成 31 年 1 月 20 日午後 6 時から午後 7 時 30 分
- 2 開催場所 福庭公民館
- 3 参加者 館長、副館長、総務部長  
、徳丸宏則(3 班・行政経験者)、井手添 誠(15 班・建築関係者)
- 4 協議の内容

7 月に開催予定の臨時総会を目途に、新公民館の基本設計(構造、見積等)、業者選定方法(解体事業と建築事業は分ける)、特別寄付の募集等について協議する。

### ○ 新公民館の基本設計について

- ・当該基本計画、実施設計、工事管理等の一連業務を、井手添設計事務所に業務委託する。費用概算は、工事費 3000 万円としてその 8%に当たる 240 万円程度を想定する。
- ・次回委員会(2 月後半予定)までに、基本計画原案を作成し、委員会で協議してのちに住縦覧を行い、意見を徴収する。

### ○ 業者の選定方法について

- ・解体事業者の選定は、補助金交付決定後の平成 2020 年 3 月末に複数業者の指し、相見積もりにより、業者を選定し契約する。業者選定要件は、後日委員会にて策定。
- ・建築事業者の選定は、補助金交付決定後の平成 2020 年 3 月末に複数業者を指名し指名競争入札により、業者を選定し契約する。業者選定要件は、後日委員会にて策定・工事期間は、5 月から 12 月を予定し、年度内に完了報告及び登記を完了する。

### ○ 特別寄付の募集について

館長が特別寄付の趣意書を作成し、班長を通じて寄付を募る。  
5 月末を期限に、募集状況を集約し、建築に必要な予算骨格を作成する。  
なお、高額寄付者等の記録掲示については、別途検討する。

次回の推進委員会は、2 月末日を予定

以上

<特別寄附の趣意書・土井承夫 作成>

## 特別寄附金（自主的な寄附）依頼趣意書

謹啓

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より福庭自治公民館の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

我が福庭自治公民館は昭和 23 年の家屋建設以来 70 年という歳月が流れ、老朽化と不具合箇所が増加によって修理だけでは対応できない状況になって参りました。

また、地域コミュニティ及び生涯学習・社会福祉の拠点として重きをなしている福庭自治公民館も、施設の機能は今の時代には不十分なものとなっており、先月の定例総会で現在の土地に新築する事が承認され正式に新築計画がスタートしました。

この新公民館は、東京オリンピックが開催される来年の 2020 年 5 月上旬には建設着工し、この年の 12 月末までには竣工する計画です。その建設費と旧公民館解体費は倉吉市からの補助金や貸付金さらには福庭自治公民館が貯金している特別会費や積立金会計そして一般会計からの繰越金等の合計となりますが、これに加えて皆様からの自主的な寄附金を賜れば財政的には盤石の計画となります。従って、今年 2019 年 7 月末に開催する臨時総会までを第 1 期分としてこの特別寄附金を受け付けます。その後も受け付けますが最終的な目標額を 1,000 万円とさせていただきます。

そして、その寄付金額の規模を見極める為、今月上旬に全世帯に寄附金申込書

をお配りし 3 月 2 日（土）の定例役員会で第一回目の集計として回収します。

この寄付については、勿論金額は自由であります。寄附者ご芳名は「芳名録」を作成して広報します。全員の方を対象とするかについては寄附者の人数と金額及びその総額をみて判断します。そして例えば 30 万円以上や 50 万円以上の高額寄附者に付きましては、それを顕彰するため「寄附金寄贈者御芳名」のタイトルでブロンズ製かステンレス製の「寄附者銘板」を作り、新しい公民館に末永く掲げます。総額が多ければ「ブロンズ製」にします。

住民の「絆」をつなぐ地域のランドマーク建設のため、安全安心なまちづくりの一翼を担う防災拠点の充実のため、地域の宝である幼い子どもたちの幸せの

ために、誠に恐縮ではありますがどうかこの趣旨にご賛同を賜りますよう伏しお願い申し上げます。

平成 31 年（2019 年）2 月 2 日 福庭自治公民館長 土井 承夫

— 3 —

<館長の行動日誌>…来月 3 月の館長報告で 1 月、2 月分を纏めて報告いたします。

## ～ 館長のちょっと一服コーナー ～

毎月、私が発表するこの公民館エッセイ（随筆）も 4 年目に入りました。然し肝心なテーマに触れていません。私が幼少の頃、倉吉と言えば「横綱琴桜」でした。44 年前、東京の学校に入学するため初めて上京した時に 4 畳半一間・素泊まりの下宿の大家さんに自己紹介する時も「あの琴桜の倉吉です」と言ったら分かってくれました。その大相撲の話は今まで一回もしてこなかったのは私の不覚であります。

今回はその琴桜・先代佐渡嶽親方の弟子で元大関「琴欧州」、今の鳴戸親方の考え方や行動を通して封建的な縦社会と言われる大相撲の世界について考えます。

琴欧州はヨーロッパジュニアレスリングのチャンピオンだった 19 歳の時に先代・佐渡が嶽親方（琴桜）にスカウトされて現地の大学を中退し日本にやってきた。だから後がなく頑張るしかなくて入門から史上最速の 19 場所で大関に昇進し、大関在位も史上 4 番目の 47 場所に達し勝率も 6 割を超えた。だが松鳳山との取り組みで左肩鎖関節脱臼の致命傷を負い 31 歳で引退となった。

然し。この悔しい経験が 34 歳で「鳴戸親方」になった時に役立つことになる。それまでの古い相撲のしきたりでは、親方というのは一段高い座敷の上にじっと座って怖い視線で力士の稽古をにらみ、時折偉そうに叱りつける事で「こわい」「近寄りがない」というイメージが形成された。

また、稽古では「見て盗め」「自分で勉強しろ」というのが昔からの考え方でましてや、若手の稽古で親方が自分の胸を貸すというのはありません。

ところが琴欧州の鳴戸親方は、上記の苦い経験と欧米人の合理的な発想からまず、（1）怪我をしない体づくり～稽古も大事だが食事も大事、だからと言って栄養が偏ってはいけない、昔ではありえない親方が若い力士と一緒に食事を摂って弟子の栄養をチェックするという、即ち「野菜」「ミネラル」「ビタミン」のバランスなども弟子の為に考えた。

（2）だから、弟子の指導は単に叱るだけでなく褒めてのばしてやる。そのためには、一人一人個別に良い所を伸ばしてやる必要がある。まるで、学習塾の習熟度別個別授業の考え方だ。然し個々人の特性を知るには

食事や生活も共にしなければならない。・・・・・・　　そうして、

— 4 —

一人一人の人間として育てることが肝要。休み時間に若い力士の悩みを聞いた  
り、稽古の後、一緒に銭湯の広いお風呂で裸になって弟子と話をしたりしてい  
る。

また、スマホで稽古の様子を一人一人撮影して夜それを一人一人に観させて  
学ばせている。

そして琴欧州の出身国ブルガリアと同じ名前のヨーグルトを売っている  
M 製菓がスポンサーとなっている関係上、冷蔵庫にはいつも同社が一杯の  
ヨーグルトを定期的に差し入れており鳴戸部屋の力士たちはいつもヨーグルト  
を飲んでいる。ただ、間違っはいけないのは実際の欧州ブルガリア国はヨー  
グルトの生産地ではない。

「栄養を考えてたくさん食べる」～「たくさん稽古」～「たくさん寝る」これ  
が

相撲人生だそうだ。

・・・・角界に新風を巻き起こす、元大関・琴欧州の挑戦は今日もつづく・・

以上

